特許協力条約

REC'D 2 8 NOV 2005

WIPO

電話番号 03-3581-1101 内線 3541

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第 12 条、法施行規則第 56 条) [PCT36 条及びPCT規則 70]

出願人又は代理人 のむ類記号 PC-9100	プログラがになっていては、おれだして、コエロカノ ユエロモシがりのここ。											
国際出願番号 PCT/JP2004/014443	国際出願日 (日. 月. 年) 24.	09.2004	優先日 (日.月.年) 25.0	9. 2003								
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. H04S7/00, H04R1/34												
出願人(氏名又は名称) ヤマハ株式会社												
 この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。 この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。 												
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a. □ 附属書類は全部で ページである。												
□ 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙(PCT規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照)												
□ 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの 国際予備審査機関が認定した差替え用紙												
 b. □: 電子媒体は全部で			(電子媒体の種	粨 数を示す	٠,							
配列表に関する補充欄に示す (実施細則第802 号参照)	ように、電子形式によ	よる配列表又は配列表			,,							
4. この国際予備審査報告は、次の内容	を含む。		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。							
一 第 1 烟 国際予備零本												
	報告の基礎											
第 I 欄 優先権		T能性についての国際	予備審査報告の不作成									
□ 第II 欄 優先権 □ 第II 欄 新規性、進歩 □ 第IV欄 発明の単一性	性又は産業上の利用 の欠如											
□ 第Ⅱ欄 優先権 □ 第Ⅲ欄 新規性、進歩 □ 第Ⅳ欄 発明の単一性 □ 第Ⅴ欄 PCT35条(2	性又は産業上の利用 の欠如)) に規定する新規性、:			遅、それを裏 (付							
□ 第Ⅱ欄 優先権 □ 第Ⅲ欄 新規性、進歩 □ 第Ⅳ欄 発明の単一性 □ 第Ⅴ欄 PCT35条(2) けるための文	性又は産業上の利用豆の欠如 の欠如)) に規定する新規性、 献及び説明			遅、それを裏 何	付							
□ 第Ⅱ欄 優先権 □ 第Ⅲ欄 新規性、進歩 □ 第Ⅳ欄 発明の単一性 ▼ 第V欄 PCT35条(2) けるための文 □ 第Ⅵ欄 ある種の引用	性又は産業上の利用 の欠如)に規定する新規性、 献及び説明 文献			裈、それを裏(िं							
□ 第Ⅱ欄 優先権 □ 第Ⅲ欄 新規性、進歩 □ 第Ⅳ欄 発明の単一性 □ 第Ⅴ欄 PCT35条(2) けるための文	性又は産業上の利用可の の欠如 () に規定する新規性、 献及び説明 文献 備			遅、それを裏 (ि							
□ 第Ⅱ欄 優先権 □ 第Ⅲ欄 新規性、進歩 □ 第Ⅳ欄 発明の単一性 ▼ 第Ⅴ欄 PCT35条(2) けるための文 □ 第Ⅵ欄 ある種の引用 □ 第Ⅵ欄 国際出願の不	性又は産業上の利用可の の欠如 () に規定する新規性、 献及び説明 文献 備			解、それを裏 f								
□ 第Ⅱ欄 優先権 □ 第Ⅲ欄 新規性、進歩 □ 第Ⅳ欄 発明の単一性 ▼ 第Ⅴ欄 PCT35条(2) けるための文 □ 第Ⅵ欄 ある種の引用 □ 第Ⅵ欄 国際出願の不	性又は産業上の利用可の の欠如 () に規定する新規性、 献及び説明 文献 備		N用可能性についての見角	遅、それを裏 (ति 							
第II 棚 優先権 第II 棚 新規性、進歩 第IV 欄 発明の単一性 「「「「「「「」」」」 第V 欄 PCT35条(2 けるための文 「「第VI欄 国際出願の不 第VI欄 国際出願に対 第VII欄 国際出願に対	性又は産業上の利用可の の欠如 () に規定する新規性、 献及び説明 文献 備	進歩性又は産業上の利用 (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属)	N用可能性についての見角	遅、それを裏 f	付 							
□ 第Ⅱ欄 優先権 □ 第Ⅲ欄 新規性、進歩 第Ⅳ欄 発明の単一性 ▼ 第Ⅴ欄 PCT35条(2) けるための文 □ 第Ⅵ欄 ある種の引用 □ 第Ⅵ欄 国際出願の不 □ 第Ⅷ欄 国際出願に対	性又は産業上の利用可の の欠如 () に規定する新規性、 献及び説明 文献 備	進歩性又は産業上の利用 (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属) (金属)	U用可能性についての見係 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		7 3 3							
□ 第Ⅱ欄 優先権 第Ⅲ欄 新規性、進歩 第Ⅳ欄 発明の単一性 家 W欄 PCT35条(2 けるための文 第 W欄 国際出願の不 第 WI欄 国際出願に対 国際子備審査の請求咨を受理した日 24.09.2004	性又は産業上の利用可の欠如)に規定する新規性、対 献及び説明 文献 ・備 する意見	進歩性又は産業上の利 国際予備審査報告を 10.	以用可能性についての見角									

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

第I概	報告の基礎
1. 含3	Sに関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。
	出願時の言語による国際出願
r.	出願時の言語から次の目的のための言語である 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
	□ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
	国際公開(PCT規則12.4(a)) 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))
2. こった	D報告は下記の出願ข類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され 差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)
V	出願時の国際出願書類
Γ.	明細杏
	第 ページ、出願時に提出されたもの
	第 ページ*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	第 ページ、出願時に提出されたもの 第 ページ*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 ページ*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
Г	請求の範囲
	第 項、出願時に提出されたもの
	第 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	第
L] 図面
	第 ページ/図、出願時に提出されたもの 第 ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの 第 ページ/図*、 付けで国際予備審査機関が受理したもの
ļ	第 付けで国際予備審査機関が受理したもの
lı] 配列表又は関連するテーブル
	配列表に関する補充欄を参照すること。
]_ ,	5. James 1. 10. 10. 10. 10. 10. 10. 10. 10. 10.
3.	」 補正により、下記の書類が削除された。
1	□ 明細書□ 請求の範囲第
İ	□ 請求の範囲 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第
	□ 図面 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第
	□ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること) □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
1	
	□ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を
1	えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c))
1	□ 明細書 第 ページ
1	「
1	図面 第 ページ/図
	□ 配列表(具体的に記載すること)□ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)
	1 http://www.action.com/
1	1 18 1 10 10 A 10 A 10 A 10 A 10 A 10 A
* 4	. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

特許性に関する国際予備報告

国際出願番号 PCT/JP2004/014443

Γ	第V棚 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第 12 条 (PCT35 条(2)) に定める見解、 それを裏付ける文献及び説明						
ľ	1.	見解					
	新	規性(N)	請求の範囲 請求の範囲		有無		
	進	歩性(IS)	韶求の範囲 請求の範囲	1-4	有無無		
	产	業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲		有無		

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

引用文献 1 JP 6-178379 A(ソニー株式会社) 1994. 12. 10

特許請求の範囲1-4にかかる発明について

引用文献1には、指向性の鋭いスピーカから放射した音声を視聴者の後方の音響反射板で反射させて、後方に リアスピーカを配置したのと同じ効果を持つサラウンド方式ステレオ再生装置において、スピーカとして映像表 示部の左右に第のスピーカを配置し、その近傍に指向性の鋭いスピーカを配置し、これらのスピーカからの音声 によりサラウンド効果を得られるようにしたものが記載されている。

特許請求の範囲 1-4 にかかる発明と引用文献 1 に記載された発明を比較すると、特許請求の範囲 1-4 にかかる発明は、視聴位置において、所望の音響特性を有するように、指向性スピーカに入力される音声信号の周波数・ゲイン特性、周波数・位相特性、及びゲインのうち少なくとも一つを補正するようにしているのに対し、引用文献 1 には、このような補正をするか否かについて記載されてない点で異なり、それ以外の点では特許請求の範囲 1-4 にかかる発明と引用文献 1 は一致している。

しかし、視聴位置において、所望の音響特性を有するように、指向性スピーカに入力される音声信号の特性を 補正することは当業者が実施にあたり適宜選択しうる事項である。

したがって、特許請求の範囲 1-4 にかかる発明は、引用文献 1 に記載された発明に基づいて当業者が容易に発明できるものである。